

昭和医科大学  
SHOWA Medical University

一昭和医科大学歯科病院の理念一

患者本位の医療  
先進的医療の推進  
医療人の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎  
編集責任者 広報委員長 松田 幸子  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1  
TEL 03-3787-1151(代表)  
いちいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

## 埋伏歯の早期発見と健全な歯並び・かみ合わせの育成

矯正歯科 診療科長・教授 中納 治久

近年、当科では「埋伏歯（まいふくし）」を主な理由として受診される患者さんが増加しています。埋伏歯とは、本来生えてくるはずの歯が歯ぐきやあごの骨の中に埋まったまま、うまく生えてこない状態を指します。

日本における埋伏歯の発生率はおよそ5%前後と報告されており、決して珍しいものではありません。しかし、埋伏歯は痛みなどの自覚症状がほとんどないため、本人やご家族がその存在に気づくことは少なく、多くの場合、歯科医院でX線撮影を行った際に偶然見つかります。

一方で、発見が遅れてしまうと、埋まっている歯が隣の歯の根を吸収してしまったり、本来残せたはずの歯の保存が難しくなったりすることがあります。図1のX線写真では、上顎左側の犬歯が埋伏し、前歯の歯根を吸収している様子が認められます。同じ患者さんでも、埋伏歯が見つかる時期によって治療の難しさや方法が大きく変わるため、早い段階での発見がとても重要です。

健全な歯並びとかみ合わせを育てていくた

めには、かかりつけ歯科医院での定期的なチェックが大きな役割を果たします。歯並びやかみ合わせ、歯の本数、歯の生える時期などに「少し気になる」「何か違和感がある」と感じたときには、矯正歯科の専門医に相談できる体制が大切です。

当科では、地域の歯科医院の先生方と連携しながら、患者さんやご家族が安心して相談できる環境づくりを進めています。これからも地域医療の一員として、健全な歯並び・かみ合わせの育成と口腔の健康を支える診療に努めてまいります。歯並びやかみ合わせで心配なことがありましたら、どうぞお気軽に当科にご相談ください。

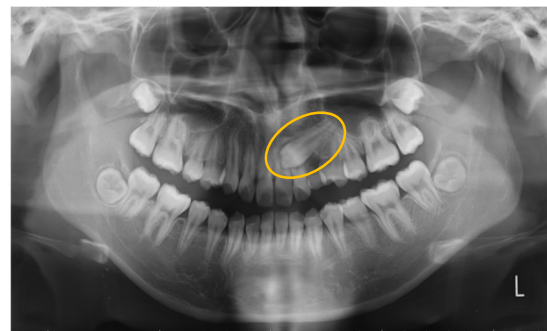


図1：埋伏歯のX線写真



- P1 埋伏歯の早期発見と健全な歯並び・かみ合わせの育成
- P2 診療科紹介：矯正歯科
- P3-4 診療科長就任のご挨拶
- P5-6 新入職員ご挨拶、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

## 診療科紹介：矯正歯科

矯正歯科 診療科長補佐・助教 北 はるな

現在当科では、歯科医師56名・歯科衛生士5名および歯科ユニット20台の歯科診療室での診療体制となっております。一般的な小児矯正や成人矯正のみならず、専門的な手術を伴う顎変形症や唇顎口蓋裂等、さらに前歯及び小臼歯の永久歯3歯以上の「埋伏歯」が原因の咬合異常に対しては保険での診療を行っています。

また、日本矯正歯科学会、日本顎変形症学会、日本口蓋裂学会の診療スタッフを中心としたチーム診療制を採用しています。顎変形症および口唇口蓋裂の患者さんの治療においては顎顔面口腔外科、形成外科等と連携し、医系総合大学としての連携や専門性を活かした治療を行っております。また、毎月のカンファレンスを開催しており、多職種が連携することで咬合機能の回復のみならず、顔貌の調和や心理的側面にも配慮した包括的医療の提供を目指しています。

では、当科に受診した際の治療の流れをご説明いたします。

### 1.初診相談

歯並びを診て、悩み・治療に関する疑問や心配事についてご相談をお受けします。詳細な治療計画には精密検査が必要なため、判断可能な範囲での期間・費用・治療内容をご説明いたします。

3次元画像  
-顎顔面用コンビームX線CT-



### 2.精密検査

精密検査（X線、口腔内・顔貌写真撮影、歯型の採得等）を行います。また、必要に応じて歯科用CT（顎顔面用コンビームX線CT）の撮影も行います。

### 3.診断・治療計画の説明

精密検査の結果をもとに患者さんに最も適した治療計画を立てます。

### 4.矯正歯科治療前の準備

矯正装置が装着されるとむし歯のリスクが高まるため、歯科衛生士による歯磨き指導が大切です。

### 5.矯正装置の装着

一人ひとりにあった装置を、装着します。装置の装着状態、ワイヤーの調節、歯の動きの確認のために、約1ヶ月に1回の間隔で通院します。

### 6.保定

治療が終了し、きれいな歯並びになったら保定装置を装着して、あと戻りするのを防ぎます。この保定も矯正治療後の歯並びを維持するために、とても大切な矯正歯科治療の一部です。

以上、皆様に信頼していただける矯正歯科医療を提供すべく、スタッフ一丸となり診療を行ってまいります。何かお困りのことがありましたら、お気軽にご相談下さい。



矯正歯科スタッフ

## 診療科長就任のご挨拶

口腔機能リハビリテーション科 診療科長・教授 伊原 良明



このたび、口腔機能リハビリテーション科の診療科長を拝命いたしました伊原良明と申します。重責を担うこととなり、身の引き締まる思いとともに、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当科は、「食べること」「話すこと」という、人が日常生活を送るうえで極めて重要なお口の機能に対し、専門的な診療を行う診療科です。超高齢社会において、これらの機能維持は健康寿命の延伸に直結します。当科では、摂食・嚥下障害や構音障害への評価・治療・機能訓練に加え、補綴装置の作製や筋機能療法（MFT）を組み合わせ、患者さん一人ひとりに応じた包括的な医療を提供しております。

診療においては、歯科医師、言語聴覚士、歯科衛生士といった多職種が緊密に連携し、チーム医療を実践しております。さらに医科との連携のもと、睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置の作製にも取り組んでおり、お口の局所だけでなく全身状態を踏まえた診療体制の充実を図っております。

近年は、口腔がん治療後の機能障害に対す

るリハビリテーションの重要性がより一層高まっております。院内外から多くの患者さんをご紹介いただくなか、術後に生じるさまざまな問題に対し、機能回復だけでなく生活の質（QOL）の向上を目指した診療を行っております。

さらに、通院が困難な患者さんには訪問診療を実施しております。ご自宅や施設での嚥下機能評価や食事場面の観察（ミールラウンド）を通じ、ご家族や地域の多職種と連携しながら、最期まで「食べる喜び」を感じていただけるよう、安全で安心な食支援に努めております。

口腔機能の問題は、患者さんご本人だけでなく、ご家族や介助者の生活にも大きく影響を及ぼします。私たちは、関わるすべての方々と協力し、地域に根ざした医療の提供を目指してまいります。

私は大学卒業後、当科の大学院生、そして職員として、これまでスタッフや患者さんから多くのことを学ばせていただきながら、日々の診療に従事してまいりました。より質の高い医療を提供できるよう、今後もスタッフ一同と協力し尽力してまいりますので、何卒ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 診療科長就任のご挨拶

障がい者歯科 診療科長・准教授 嘉手納 未季



このたび、本年4月1日より障がい者歯科の診療科長を拝命いたしました嘉手納未季（かでなみき）と申します。

私は本学を卒業後、小児歯科に入局し、2012年に障がい者歯科が一階に開設されたのをきっかけに、2013年から障がい者歯科に所属し、2023年からは本学の精神科病院である烏山病院にて2年間勤務のち戻ってまいりました。

障害のある方にとって、歯医者にかかること自体が困難な場合もあるかと存じます。当科は歯科診療に対し、個々の特性や特徴に配慮し診療を行っております。診療室に入れない、診療用のイスに座れない場合は、歯科に慣れるためのトレーニングから行っていきます。当科ではさまざまな心理的療法を用いて、お口のクリーニング、歯石除去、むし歯治療、被せ物や義歯などの補綴治療、抜歯などの外科治療を行っております。

また必要に応じて、院内の各専門診療科と連携し対応しています。恐怖心や緊張が強い方には、歯科麻酔科と連携して静脈内鎮静法にて歯科治療を行うなど、患者さんの安全を

第一に、歯科治療による不安やストレスを最小限にすることを常に心がけています。治療する歯の本数が多い場合や親知らずの抜歯などでは、全身麻酔による集中治療を行っています。

おいしく食事を楽しむためにも、むし歯・歯周病予防は重要であり、患者さん自身の自立支援を含めたご本人への口腔清掃指導および予防処置、プロフェッショナルクリーニングを行い、口腔の健康維持管理に努めています。

当科では知的障害や自閉スペクトラム症、脳性麻痺、ダウン症候群など、さまざまな障害や疾患のある方を対象とし、赤ちゃんからご高齢の方まで年齢を問わず対応しております。歯科診療を受けること自体が難しくお困りの方がいらっしゃいましたら、スタッフ一丸となり、誠心誠意対応させていただきます。

まだまだ未熟ではございますが、日々技術の向上と学びを継続し、障がい者歯科の発展を目指し、地域の方々の歯・口の健康を守り、皆様に信頼していただける歯科医療の推進に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。



全身麻酔下 集中治療



障がい者歯科スタッフ

## 新入職員ご挨拶

教育支援室

実際の臨床に触れ、技術だけでなく、患者さんとのコミュニケーションの取り方も学んでいきたいと思っています。患者さんに寄り添った診療ができる歯科医師となれるよう頑張ります。

臨床研修歯科医師 西岡 巧真

研修を通して、高度な技術を学び、患者さんの不安に寄り添い信頼される歯科医師を目指します。日々研鑽を積み、実りある一年にしたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修歯科医師 土肥 幸暉



臨床研修歯科医師 オリエンテーションの様子

## 新入職員ご挨拶

歯科衛生室

歯科衛生士として常に向上心を持ち、日々知識と技術の習得に努めながら、患者さんに寄り添った丁寧な対応ができるよう努力してまいります。

歯科衛生室 歯科衛生士 横田 汐里

知識と技術の向上を図り、患者さんに寄り添った歯科医療を実践できるよう努めてまいります。

歯科衛生室 歯科衛生士 金城 未悠

患者さんがリラックスして受診できるよう、安心感のある声掛けを大切にしていきます。信頼される歯科衛生士を目指し、誠実さと向上心を持って頑張ります。

歯科衛生室 歯科衛生士 伊藤 未来

患者さん一人ひとりに合った歯科医療を提供し、患者さんから信頼される歯科衛生士を目指して日々学び続け主体的に行動することを心がけてまいります。

歯科衛生室 歯科衛生士 佐藤 由香

患者さん一人ひとりの多様なニーズに応え、口腔から全身の健康を支えられる歯科衛生士を目指し、向上心を持って知識と技術の習得に努めてまいります。

歯科衛生室 歯科衛生士 芋田 陽南花



歯科病院での入職式の様子

## 新入職員ご挨拶

歯科衛生室

患者さん一人ひとりに寄り添い、信頼していただける歯科衛生士を目指します。日々の学びを大切にしながら笑顔と丁寧な対応を心がけ、誠実に業務に取り組んでまいります。

歯科衛生室 歯科衛生士 今井 香花

笑顔と思いやりを大切にし、患者さんに寄り添ったケアを提供できる歯科衛生士を目指し、日々努力してまいります。

歯科衛生室 歯科衛生士 上林 葵

新しい環境の中で、自分自身が主体的に努力し続けられる目標を見出し、常に向上心を持って成長してまいります。患者さん一人ひとりに真摯に寄り添い、安心と信頼を与えられる歯科衛生士を目指します。

歯科衛生室 歯科衛生士 山田 茉白

予防処置やブラッシング指導を通して、患者さんのお口の健康を支えていきます。安心して通院していただけるよう、丁寧な対応と技術向上に努めてまいります。

歯科衛生室 歯科衛生士 上遠野 真心

一日でも早く業務に慣れ、知識と技術を身につけながら、患者さんに安心していただけるよう努力してまいります。

歯科衛生室 歯科衛生士 串橋 日向

医療従事者として1日でも早く仕事を覚えて、勉強に励みます。皆様の力となり信頼されるような歯科衛生士となる事を目標に頑張ります。

歯科衛生室 歯科衛生士 和田 真尋

患者さんに安心して通院していただけるよう、丁寧な対応と確かな技術を大切に、信頼される歯科衛生士を目指して日々努力を重ねてまいります。

歯科衛生室 歯科衛生士 皆川 凜花



## 編集後記

新年度を迎え、春の訪れを感じる季節となりました。暖かい日差しの中で、桜を楽しまれた方も多いのではないのでしょうか。一方で、環境の変化や寒暖差により体調を崩しやすい時期でもあります。新生活に慣れるまでは無理をせず、規則正しい生活を心がけていただければと思います。日々の口腔ケアはもちろん、全身の健康管理にも十分ご留意ください。

(Y.T)

